

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成27年 3月31日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ キ・マチヅ・クリノカイ
団体名 吉備まちづくりの会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☒ ウ 地域計画づくり ☒ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	吉備まちづくり事業
事業実施区域(小学校区)	概ね吉備小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 7 回目 (22 年度から)
事業の目的	先年の3.11「東日本大震災」や、30年発生確率が60～70%とされている「東南海・南海地震」及び、台風12号のような集中豪雨の自然災害に対し、災害の知識及び対応策を学ぶことにより、減災が実現できるように努力していくこと。 また、災害が発生した後に、より短期間で効率的な復興を成し遂げるための知識やネットワークを構築する。 これらの実現には、地域のつながりが不可欠であるため、各種地域活動を通じて地域のつながりを高めていくものである。あわせて、地域の文化的遺産を広く公開することにより、保護・保存に努める。

事業の必要性	当地域は現在6000世帯16000人の方が住んでおられるが、近年人口増加の著しい地域では有る。古くから住んでおられる方には、高齢者世帯や一人暮らしの方も多し、地震防災マップ（岡山市試算）では全壊率30%以上と示されている地域である。そのため、災害時には要救護の必要性が高いと考えられ、被災時の自助・共助の活動を高めるためには、この活動が有効であると考えます。
事業の内容	活動の一環として、平成22年2月14日吉備学区連合町内会の支援を受け、「岡山ボランティアネットワーク」立ち上げ、活動の頻度を2ヶ月に1回 年間6回の予定で開催します。平成23年度の活動の中で、「第1回 防災のつどい」を開催しました。また、25年度には公民館を利用して宿泊を伴う「避難所体験会」も開催いたしました。 防災意識向上のため、昨年度は出張出前講座を10回開催して、良い評価を頂いた。南海トラフ大地震を念頭に被災地の支援の在り方についても検討したい。 また、「撫川・庭瀬城址周辺整備推進協議会」や「庭瀬かいわい案内人」等の団体と連携することにより、防災活動だけでなく防犯や環境分野等に広く活動の範囲を広げていきます。 以下に要約したな活動内容を示す。 1. 安否確認カードの普及に努める。 2. 防災出張出前講座を行う。 3. 各種団体と協力し、地域内の清掃活動を行う。 4. 歴史的、文化的な遺産をガイドブックにまとめ地域資源を広く公開していく。 5. 古代ハス(大賀ハス)の繁殖・育成と共に、広く広報していく。 以上を主な活動として展開していく。
期待される成果	岡山地区に暮らす多くの人々は温暖な気候に恵まれ、自然災害も少なく暮らし易いと思っています。 しかし私達の郷土も例外ではありません、30年以内に60～70%の確率で発生が予測されている(東海)東南海・南海地震など、いつこれらの自然災害が起るか分かりません。 吉備地区は足守川、笹ヶ瀬川に挟まれた沖積粘土層の地盤であり非常に地下部位は柔らかく、地震が起きた時に大きな揺れや、液状化による被害が予想されることから、他地域に先駆け防災活動を始め近隣地区と情報ネットワークを結び、いち早く行動を起こし災害を最小限にできる。 地域の遺産を保護する活動を通して、地域のつながりが高まっていく。

企画などの工夫	人材の募集は公募により吉備小学校区に止まらずに近隣地域を含め、この活動に興味を持った多くの方に参加していただき、大きなネットワークを構築する。 また、東北で被災された方の話を参考に、参加していただける方が楽しく活動できて、「また参加したい」と思えるような活動もおり込みながら長いスパンの活動としていきたい。
事業の情報公開	活動の報告等は、電子町内会等のインターネットを利用して情報発信すると共に、印刷物として配布したいと考えている。 また、イベント等を行う際にはメディアにも来ていただいて取材していただきたい。
次年度以降の予定	補助の増額によっては継続予定
その他PRしたい点	この活動は、7年前から活動を開始して徐々に活発になってきている状態にあるが、当初は自費で活動してきたため、活動には制約が多く経費が掛る活動が困難な状態であった。現在も資金の捻出に苦労している。 しかし、安否確認カードにおいては、認知症高齢者等の家族連絡には大変有用なアイテムとして活用されている。

[illegible]

	監查
--	----